



日本共産党

北区議会議員

のの山けん 区政レポート

http://kyoukita.jp/nonoyama/ E-mail nonoyama@kitanet.ne.jp

No.250 2013.2.20

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

「枯渇し足りなくなる」(北区)が一転、

北区の財調基金

過去最高の125億円

※2012年度末見込み

26日から始まる北区議会第1回定例会に向けて、北区の新年度予算案が示されました。

今回の予算案では、「財政が厳しい」と発信してきた北区の言い分が、完全に破たんしたことが明らかにになりました。

今年度当初の予算編成で区は、使いみちを特定せず福祉などに使える「財政調整基金」(財調基金)を全額取り崩すため、不足する約8000万円を学校改築基金から借り入れなければならぬ、としていました。これに対し、日本共産党の、のの山けん区議は昨年3月の予算特別委員会で、「北区の財政は

大変」という誤ったメッセージを送って外部化路線のさらなる徹底や職員定数削減など「経営改革」路線を押し進めつつ、新庁舎建設や十条の再開発計画は「聖域」として基金を積み増そうといふねらいがあることを指摘しました。

その後、5月の出納閉鎖では、財調基金残高は約26億円に、昨年末には旧

富士見中跡地の売却で約88億円まで積み上がり、新年度予算案では、ついに約125億円となりました。

「枯渇し足りなくなる」どころか過去最高の財調基金を積み立てることになった北区の財政運営は、異常の極みといえます。新年度



党北区議員団主催の新年度予算説明会 = 18日

こうして積み上がった 財調基金

●2012年3月 「年度末には財調基金がゼロになり、学校改築基金から約8000万円を借り入れなければならぬ」(新年度予算編成で北区)

約**-8000万円**

●2012年5月 前年度会計の出納閉鎖の結果、年度末の財調基金残高予測は約26億円に積み上がる。

約**26億円**

●2012年11月 第4回定例会で、旧富士見中跡地の売却益約63億円を財調基金に積み立て、年度末の残高予測は約88億円に。

約**88億円**

●2013年2月 新年度予算案で年度末残高予測が過去最高の約125億円に。

約**125億円**

は、区民にがまんを強いることをやめ、暮らし応援の予算に転換すべきです。

北区2013年度予算案の特徴は

区民に負担、大型開発に積み立て

はこね荘廃止へ、高齢者入浴券は自己負担倍に

今年3月で休館となる区民保養所「はこね荘」は、廃止・売却へ。北区は、事業の必要性の低下、利用者数の減少などを理由としています。また、多くの区民から「区民サービスを切り捨てないで」の声があがっています。

高齢者ヘルシー入浴券事業は、これまでの自己負担額1回50円を、倍の100円へ引き上げます。区は「年間20枚を24枚に増やしレベルアップした」と説明しますが、年間の自己負担はこれまでより大きくなります。また、従来は無料

「財政が厳しい」との言い訳はすでに破たんしている（表参照）のに、北区新年度予算案では、区民に新たな負担を強いる施策が打ち出されています。

まちづくり・新庁舎へ10億円ずつ基金上積み

その一方で、駅前開発や新庁舎建設など、大型公共事業には引き続き基金を上積みする計画です。新年度予算案では大きく動き出すまちづくりへの対応を積極的に進めるとし、約150以上の超高層マンションを含む十条駅西口再開発や、王子駅周辺まちづくりグラウンドデザイン策定の予算を計上。



売却される北区はこね荘

赤羽東地域で動き出す新規事業

新年度予算案より



赤羽体育館

1年間ストップしていた（仮称）赤羽体育館の建設が、2015年度中の開設に向けていよいよスタートします。桐ヶ丘、滝野川と並ぶ総合体育施設が赤羽に誕生します。



赤岩中新校舎

赤羽岩淵中学校の新築工事は2年目に。2014年春の開設をめざします。なでしこ小学校は、13・14年度の基本・実施設計をふまえて、15年度に改築工事となります。



赤羽会館

赤羽会館の耐震補強工事は2013年度に設計、14年度に実施となります。工事中の約1年間は、旧赤羽中（現在は赤岩中が校舎に使用）を代替施設として活用する予定です。